

2022 年度 京都臨床細胞学会近畿連合会学術集会会議

(令和 4 年第 1 回臨時幹事会)

2022 年 1 月 12 日 (水) 18:00-19:00

参加者：26 名

決定事項・協議事項

1. 日時：2022 年 12 月 11 日 (日)、京大 100 周年記念ホール

予約：京大 100 周年記念ホール、国際交流ホール、会議室

会長：南口早智子

副会長：岸本光夫、江口光徳

2. 開催形式：ハイブリッド（現地+WEB、後日オンデマンド/ HP 上で Ppt を  
公開）

3. プログラム案（進捗状況、協議事項）

9 時から準備

9時30分受付開始

10:00-11:00: 教育講演：

10:00-10:30 上田 豊 先生（大阪大学）

HPV ワクチンの普及めざして

10:30-11:00 岩成 治 先生（島根県立中央病院）

子宮頸癌の撲滅をめざして（HPV と細胞診併用検診）

11:00-12:00: ワークショップ：セルブロック作成法

11:00-11:30 鳥取県立中央病院 川上智史さん

11:30-12:00 公立昭和病院の方：濱川真治さん

12:00-13:00: 昼休憩、幹事会

13:00-13:15: 総会

13:15-14:15: 先進的内容の企画

13:15-13:45 元井紀子先生（埼玉県立がんセンター病理診断科）

洗浄検体などの細胞検体を用いた遺伝子検査・ゲノム WG

13:45-14:15 塚本徹哉先生（藤田医科大学医学部病理診断学）

細胞診材料における人工知能での判定の可能性

14:15-15:15: 診断講習会

14:15-14:45 大江知里先生（関西医大枚方病院）

尿細胞診のピットフォール

14:45-15:15 鈴木彩菜さん(隈病院)

細胞診材料における人工知能での判定の可能性

15:15-15:25 休憩

15:25-16:25: スライドカンファレンス

16:25-16:30: 閉会の言葉、閉会

→ 上記で概ね OK であるが、施設の使用は 17 時までに後片付けして撤収なので、微調整する予定。

事前に参加費徴収予定であることや、現地参加者が多くない可能性が高く、受付業務はそれほど混雑しない。参加者は講演・発表者と幹事がメインと思われるので、30 分で十分と推察。ただし、感染防止策（体温測定、マスク着用チェック、座席を 1 個ずつ空けるための紙を貼るなどの準備必要

➤ ワークショップ 教育的な企画（検査士、技術）：山口さん担当

セルブロック作成法の工夫（2人、25分、10分）

鳥取県立中央病院 川上智史さん

公立昭和病院の方：濱川真治さん

➤ 先進的な内容の企画：吉澤先生担当(確定)

- 洗浄検体などの細胞検体を用いた遺伝子検査・ゲノムWG

元井紀子先生（埼玉県立がんセンター病理診断科） 30分

- 細胞診材料における人工知能での判定の可能性

塚本徹哉先生（藤田医科大学医学部病理診断学） 30分

➤ 教育講演：① 上田 豊 先生（大阪大学） HPVワクチンの普及めざし

て

② 岩成 治 先生（島根県立中央病院）子宮頸癌の撲滅をめざして（HPVと

細胞診併用検診）

➤ 診断講習会：CTの方・専門医（30分×2）

尿細胞診のピットフォール：大江知里先生（関西医大枚方病院）

甲状腺 FNA のピットフォール：鈴木彩菜さん(隈病院)

➤ スライドカンファレンス：江口

座長：滋賀県（専門医）、京都府（江口さん）

		出題者	回答者①	回答者②
出題①	婦人科	京都	専門医 兵庫	細胞検査士 和歌山
出題②	液状検体(婦人科以外)	大阪	専門医 大阪	細胞検査士 兵庫
出題③	穿刺吸引	滋賀	専門医 奈良	細胞検査士 京都

4. 参加費支払い（3000 円）などは事務局一任（口座作成、支払い方法）

**電子決済は、PassMarket**

5. Zoom: 近畿連合会が 500 名のミーティング（4 月から）

先着順、漏れた場合はオンデマンド

6. HP 作成（コンベンション or HP の会社に頼む？見積もり必要）

< 運営（コンベンションを入れるかどうか） >

井上健先生（大阪市立総合医療センターからのメール、一部抜粋）

2023 年の近畿連合会（大阪）：インターグループの提示システムが安かった

ので、インターグループに契約予定

[主要実績 - 通訳・翻訳・人材派遣・コンベンションサービスの株式会社インタ](#)

[ーグループ \(intergroup.co.jp\)](#)

[アワード 学会・国際会議ハイブリット\(リアル・オンライン\)開催システム](#)

[| ブランドコンセプト \(brandconcept.co.jp\)](#)

京都も抱き合わせてディスカウントは可能（担当者に確認済み、見積もりはまだ）

インターグループ 中山俊作 [snakayama@intergroup.co.jp](mailto:snakayama@intergroup.co.jp)

- 大阪開催でのコンベンションサービスのサポート範囲

現地マンパワーは大阪府臨床細胞学会の検査士スタッフ、役員スタッフ

コンベンションからは責任者 2 - 3 名のみ

ハイブリッドのカメラは PC の内臓カメラのみ

会場撮影のカメラは入れないなど

当日に関わる費用は、できる限り削減し、準備段階でのサポート（企業協賛趣意書の内容指導、税務処理、会場レイアウト、企業展示レイアウト等の提案、音声・映像関係の準備、事前参加登録、クレジット決済システムなどなど、おもにノウハウを伝授・実践してもらう）が主体

→

- 講師への謝礼はいずれも 30 分、3 万円、CT / 医師、会員・非会員関係なく、お支払い予定。現地に来て頂く場合は、別途交通費や必要に応じて、宿泊費も支払う。
- 謝礼などが決まったので、会場費（37 万円強）や、他の必要経費なども合わせて概算し、その上でインターグループにも見積もりを頼む。
- 桜井先生より大阪の状況を井上先生に聞いてもらう。
- 京都は今までも自分たちで、なんとかできていたので、できるかもしれない。ただし、事前参加登録、クレジット決済システムなどを使う場合のノウハウ（使わないなら他のシステム）や、後日のオンデマンド参加の HP 作成（Ppt のアップか、画像編集を当日行ってアップするか、など）、自

分たちだけでできるか、従来の業者にピンポイントで頼むか、などは予算と合わせて検討。ちなみに、前回の京都での近畿連合会の参加者は450名くらい。学会からも補助は出る。

- HPにPptやオンデマンドで画像をアップする場合は、演者の許諾が必要
- 上記の演者の決定、予算の概算、見積もりの結果などが出たら、またメール会議で幹事の皆様に共有。
- 次回も必要に応じて、WEB会議をするかもしれません。よろしくお願いいたします。